

## 海外遠征本格化 テニス、尾崎里紗



さらなる飛躍を誓う尾崎里紗＝  
神戸市垂水区、ロイヤルヒル'8  
1TCコート

ロイヤルヒル'81テニスクラブ(神戸市垂水区)所属の尾崎里紗(16)＝駿台甲英高1年＝が海外遠征を本格化させ、充実のシーズンを過ごしている。1月の全豪を皮切りに、全仏、全英、全米とジュニアの四大大会すべての本戦に出場。世界のトップ選手たちと競い、心身ともにたくましさを増した。(小川康介)

神戸市立桃山台中の3年生だった昨年9月の全米で予選を突破し、四大大会にデビュー。「思い切ってできたし、戦うのが楽しかった」と手応えを深め、今年1月の全豪では日本勢で唯一、本戦3回戦へ進出した。

しかし、「少し安心感があり、その後は気が抜けてしまった」と反省する。3月にジュニアの世界ランキングで過去最高の48位まで浮上し、全仏、全英とも本戦から出場したが、ともに1回戦敗退。予選を勝ち抜いた先月の全米も本戦初戦で全仏準優勝の相手にフラット(直球)系のショットでリズムを崩され、積極性を出し切れぬまま1-6、2-6で敗れた。

昨年12月、20歳以上離れたクルム伊達公子とトレーニングをともにし、「今の若手が勝つには、もっとテニスへの情熱が必要」と言葉を掛けられた。尾崎のコーチ、川原努氏も「本人にもっと上で戦う『欲』が必要。周りを含め、どこまで本気になれるか」と話す。

力強さが増し、テニスの幅も広がっている。あとはどう精神面をコントロールしていくか。「次の全豪で一つずつ頑張りたい」と尾崎。経験を糧に、確実に過去の自分を超えていくつもりだ。

(2010/10/07 07:00)